

令和6年度 栗山町議会

議 会 報 告 会

1. 議員活動日数
2. 議決の結果件数について
3. 賛否の公表をした議件及び討論内容
4. 各委員会の活動報告

栗山町民（以下「町民」という。）から選挙で選ばれた議員により構成される栗山町議会（以下「議会」という。）は、同じく町民から選挙で選ばれた栗山町長（以下「町長」という。）とともに、栗山町の代表機関を構成する。この2つの代表機関は、ともに町民の信託に応える活動し、議会は多人数による合議制の機関として、また町長は独任制の機関として、それぞれの異なる特性をいかして、町民の意思を町政に的確に反映させるために競い合い、協力し合いながら、栗山町としての最良の意思決定を導く共通の使命が課せられている。

議会が町民の代表機関として、地域における民主主義の発展と町民福祉の向上のために果たすべき役割は、将来にかけてますます大きくなる。特に地方分権の時代を迎えて、自治体の自主的な決定と責任の範囲が拡大した今日、議会は、その持てる権能を十分に駆使して、自治体事務の立案、決定、執行、評価における論点、争点を広く町民に明らかにする責務を有している。自由かつ達な討議をとおして、これら論点、争点を発見、公開することは討論の広場である議会の第一の使命である。

このような使命を達成するために本条例を制定する。われわれは、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法律」という。）が定める概括的な規定の遵守とともに、積極的な情報の創造と公開、政策活動への多様な町民参加の推進、議員間の自由な討議の展開、町長等の行政機関との持続的な緊張の保持、議員の自己研さんと資質の向上、公正性と透明性の確保、議会活動を支える体制の整備等について、この条例に定める議会としての独自の議会運営のルールを遵守し、実践することにより、町民に信頼され、存在感のある、豊かな議会を築きたいと思う。

栗山町議会基本条例前文
平成18年5月18日制定

1 議員活動日数



定例会議、委員会等の開催状況

栗山町議会では、令和3年12月より定例会を毎年5月から翌年4月までの1年間とする通年議会制を導入しました。6月・9月・12月・3月に「定例会議」を開催し、さらに必要に応じて「臨時会議」を開催します。

その他、特定の事項について詳しく調査するために、必要に応じて設置する「特別委員会」、分野ごとに分け専門的に調査するための「常任委員会」があります。

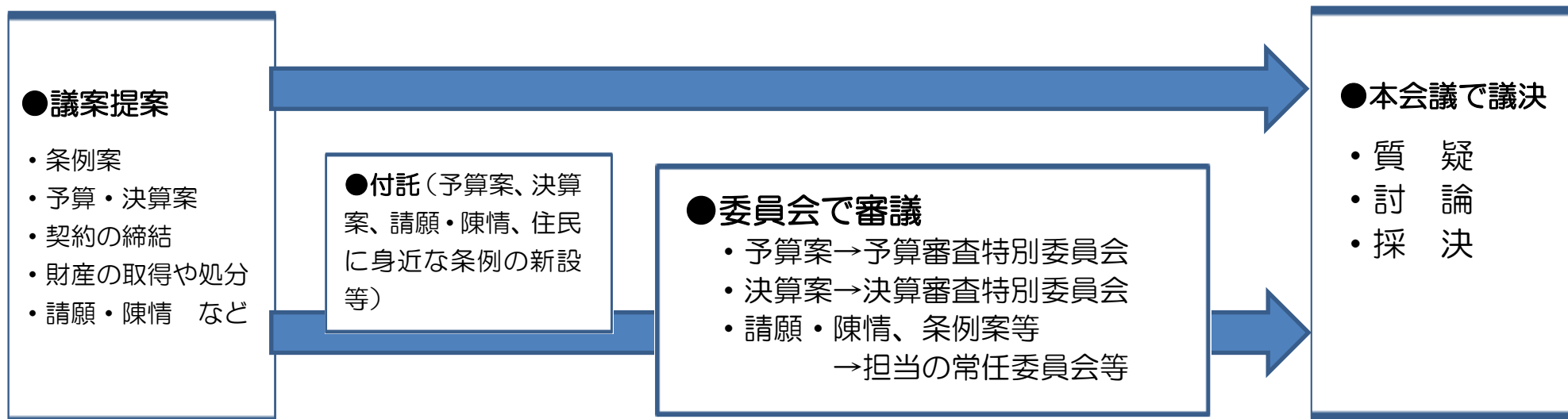
		令和6年（1月～12月）開催回数
定	例 会 議	14回
臨	時 会 議	4回
議 会	運 営 委 員 会	18回
総 務	教 育 常 任 委 員 会	5回
産 業	福 祉 常 任 委 員 会	9回
広 報	広 聴 常 任 委 員 会	7回
	広 報 小 委 員 会	13回
	広 聴 小 委 員 会	6回
予 算	審 査 特 別 委 員 会	3回
決 算	審 査 特 別 委 員 会	4回
中 長 期	財 政 問 題 等 調 査 特 別 委 員 会	1回
議 員	報 酬 に 関 する 調 査 特 別 委 員 会	5回
全 員	協 議 会	15回
議 会	改 革 推 進 会 議	6回
一 般	会 議	3回
議 会	報 告 会 ・ 出 前 報 告 会	15回

2

議決の結果件数について



1. 議決までの流れ



議会の意思決定は、「議決」と呼ばれています。本会議で議題とした事件に対し、個々の議員が賛成・反対の意思を表明し、議長がその結果を集約することで議会の意思を決定するものです。議員の意思表示が賛成・反対で分かれている場合は、特別な場合を除き、地方自治法の規定に基づき、本会議に出席している議員の過半数が表明した意思により、その賛否が決定することになります。議長は議決に加わる権利はありませんが、賛成・反対が同数になった場合は、議長が決定します。

また、議会での議決に先立って詳しく検討するため、それぞれの担当の委員会に調査や審査を委託することを「付託」といいます。

2. 議決件数（令和6年1月～12月）

区 分			提出者別・種類別									合 計		
			町 長 提 出					議 員 提 出						
			条 例	予 算	決 算	その他事件	計	条 例	意見書	決 議	規則その他		計	
定例会	定例会議		2 4	3 6	9	2 3	9 2	1	8	0	1 3	2 2	1 1 4	
	臨時会議		1	3	0	4	8	0	0	0	5	5	1 3	
計			2 5	3 9	9	2 7	1 0 0	1	8	0	1 8	2 7	1 2 7	
審 議 方 法	本会議即決		2 5	3 0	0	2 7	8 2	1	8	0	1 5	2 4	1 0 6	
	委員会付託	常任	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		議運	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3
		特別	0	9	9	0	1 8	0	0	0	0	0	0	1 8

議決の種類

- 可決（否 決）：予算、条例、契約、財産、意見書 等
- 承認（不承認）：専決処分に関するもの
- 認定（不認定）：決算に関するもの
- 同意（不同意）：人事案件に関するもの
- 採択（不採択）：請願、陳情に関するもの



3

賛否を公表した議件及び討論内容



1. 賛否を公表した議件

●令和6年3月定例会議

議件名	結果	齊藤(義)	置田	重山	大櫛	堀	鈴木	佐藤	齊藤(隆)	端	藤本	鵜川
令和6年度栗山町一般会計予算	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	/
令和6年度栗山町国民健康保険特別会計予算	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	/
令和6年度栗山町後期高齢者医療特別会計予算	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	/

可：可決 不：不採用 ○：賛成 ×：反対 ー：棄権 ※鵜川議員は議長のため採決に加わっていません。

《反対》 重山 雅世 議員

後期高齢者医療保険料が増額しており、激変緩和があるとはいえ大幅な負担増となる。物価上昇が続いているのに、公的年金は実質的に削減されている。老後を安心して暮らしていける政治に切り替えるべき。

後期高齢者医療特別会計に関係する全ての会計予算に反対する。

一般会計については、十分理にかなった組み立てをされている。きちんとした組み立ての中で、我々の審議と同時に答弁もあった。

また、国の制度は市町村が遵守しなければいけない基本的なルール。そこに反していない予算であるかというところを審議しなければならない。

《賛成》 齊藤 義崇 議員

録画配信



議件名	結果	齊藤 (義)	置田	重山	大櫛	堀	鈴木	佐藤	齊藤 (隆)	端	藤本	鵜川
請願第1号 物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引き上げを求める請願	不	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	/

主旨：北海道では高齢化率が50%を上回る自治体もある。年金の削減は地域経済を冷え込ませ、地方財政にとっても大きな問題である。高齢者も若者も安心して老後をくらすよう、老齢基礎年金等の引き上げを求める意見書を送付されるよう請願する。

《賛成》 重山 雅世 議員

2013年から11年間で物価は8.1%上昇しているのに、年金支給率は0.8%の上昇に留まっている。財源については現役世代の負担を増やさなくても、今後の人口減少を踏まえれば積立金の取り崩しも可能。
この請願の主旨は、高齢者だけの問題ではなく、今の若い世代もいずれ迎える老後を安心して暮らせる制度の実現を目指すもの。

少子高齢化の日本において、将来にわたって年金受給者と現役世代が共に支え合わなければ年金制度自体が崩壊してしまう。年金給付額が物価もしくは賃金上昇に比例した場合の財源負担は現役世代が負うことになる。現役世代もギリギリの生活を送っている中で、どちらから一方のみが救われる内容の請願を認めるわけにはいかない。

《反対》 齊藤 隆浩 議員

録画配信



●令和6年6月定例会議

議件名	結果	齊藤 (義)	置田	重山	大櫛	堀	鈴木	佐藤	齊藤 (隆)	端	藤本	鵜川
議案第14号 中里団地1工区新築主体工事の請負契約について	可	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	/

契約の内容 ◇ 契約方法 指名競争入札
 ◇ 契約金額 136,400,000 円
 ◇ 契約の相手方 朝日産業株式会社

録画配信



《反対》
齊藤 隆浩 議員

入札額を見ると、入札としての機能をなしていないのがわかる。改善していかないと制度自体の意味がない。きちんと入札されていると言いながら、こういう結果になるというのは理解できない。

《反対》
端 師孝 議員

入札額に対しては不自然なところがあると感じた。同僚議員の質疑を聞いて、賛成できないと感じた。

《賛成》
齊藤 義崇 議員

現行の法律に従って定められた通りに行われているということで、根拠は明瞭である。

《賛成》
鈴木 千逸 議員

疑問に思わないところがないわけではないが、反対する明確な根拠にはたどりつけていない。

《賛成》
藤本 光行 議員

「なんとなくそう思う」というようなところで判断すべきではない。今のところ疑義の証拠が示していない以上は正確に執行されていると判断する。

議件名	結果	齊藤 (義)	置田	重山	大櫛	堀	鈴木	佐藤	齊藤 (隆)	端	藤本	鵜川
議案第15号 中里団地2工区新築主体工事の請負契約について	可	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	/

契約の内容 ◇ 契約方法 指名競争入札
 ◇ 契約金額 144,540,000 円
 ◇ 契約の相手方 松原産業株式会社

録画配信



《反対》
齊藤 隆浩 議員

議案第14号と同様の考え
で反対。

《賛成》
齊藤 義崇 議員

議案第14号と同様の
考え賛成。

《反対》
端 師孝 議員

議案第14号と同様の考え
で反対。

《賛成》
鈴木 千逸 議員

議案第14号同様、明確
な確たる根拠がないまま
反対というのは、いかがな
ものかと思う。

《賛成》
藤本 光行 議員

議案第14号と同様の
考え賛成。

議件名	結果	齊藤 (義)	置田	重山	大櫛	堀	鈴木	佐藤	齊藤 (隆)	端	藤本	鵜川
議案第16号 ふじ団地93号棟外壁改修工事の請負契約について	可	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	/

契約の内容 ◇ 契約方法 指名競争入札
 ◇ 契約金額 60,500,000円
 ◇ 契約の相手方 朝日産業株式会社

録画配信



《反対》
齊藤 隆浩 議員

中里団地新築主体工事と内容は違うのに、請負業者がまったく同じ。町民が見たら不思議に感じると思う。

議案第14号、15号と同様、反対する。

《賛成》
齊藤 義崇 議員

役場は適正に入札を行っていることは、質疑からはっきりした。この請負契約に対する嫌疑を晴らすのは企業側になる。

疑いだけでは反対することにはならない。

《反対》
端 師孝 議員

議案第14号、15号と同様の考えで反対。



議件名	結果	齊藤 (義)	置田	重山	大櫛	堀	鈴木	佐藤	齊藤 (隆)	端	藤本	鵜川
議案第17号 ふじ団地96号棟外壁改修工事の請負契約について	可	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	/

契約の内容 ◇ 契約方法 指名競争入札
 ◇ 契約金額 60,280,000 円
 ◇ 契約の相手方 松原産業株式会社

録画配信



《反対》
齊藤 隆浩 議員

議案第14号から17号について、いろいろ担当課から説明を聞いたが、私はこのままでは町民に説明できない。完全な透明ではないと感じる。誰が見ても競争が働いたと思える仕組みにしていかなければならない。

《反対》
端 師孝 議員

同僚議員の質疑から、入札1位、2位の価格差を見ても、たまたまが続きすぎている。町民でも同じように感じる人がいると思う。そう感じる町民がいるのであれば反対。

《賛成》
齊藤 義崇 議員

法律に反していれば裁かれる。議案審議は町民に説明できるかできないかということではない。事実を整理すれば、賛成ということになる。

《賛成》
鈴木 千逸 議員

入札については、精度の高い見積額を積算できるソフトがあると聞く。また、今回契約した2社は長年町内の公共事業を支えてきた企業であり、ノウハウがあると考え、今回のような結果はありえることなのでは。

《賛成》
堀 文彦 議員

疑義が起きるような明らかな根拠がない。憶測の範疇を超えていない。

●令和6年9月定例会議

議件名	結果	齊藤 (義)	置田	重山	大櫛	堀	鈴木	佐藤	齊藤 (隆)	端	藤本	鵜川
議案第22号 栗山町第7次総合計画の一部変更について	可	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/

内容：公共施設等の空調設備整備を行うための計画事業1件の追加。

指定避難所の環境整備や公共施設利用者の健康管理等を目的に、公共施設等の空調設備整備を行う。

《反対》
齊藤 隆浩 議員

あまりにも町民の意思を軽視している。町民がいての我々なので、町民の意見をしっかりと聞いていかないといけない。
空調設備の整備にお金を使うということは、他のところを減らさないといけない。そうしなければ将来の借金が増える。

これを反対することによって、公共施設にクーラーがつかない。
町民の命や健康に関わる部分については、議会としては機動性を持つ必要があると
考えた時に、賛成する理由には充分ではないかと考える。

《賛成》
齊藤 義崇 議員



議件名	結果	齊藤 (義)	置田	重山	大櫛	堀	鈴木	佐藤	齊藤 (隆)	端	藤本	鵜川
請願第 1 号 女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の日本政府への提出についての請願	不	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	/

主旨：女性差別撤廃条約は、女性が差別を受けない権利と平等の権利を保障している。選択議定書はこの条約の実効性を強化するために改めて採択されたものだが、日本ではまだ批准しておらず、日本の女性の権利、ジェンダー平等を国際基準に引き上げるためにも、選択議定書の批准は急務である。

「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」を提出するよう請願する。

《賛成》 重山 雅世 議員

日本が選択議定書を批准することは、女性だけでなく全ての人が尊重される社会の実現に向けて第一歩となる。

住民世論の動向に常に関心を持ち、それを先取りする形で意見書を活用することが民意を高めると同時に政府や国会を動かす力になると考える。

日本は日本らしいやり方で女性差別の撤廃方法があると思う。世界基準が日本基準ではないと強く感じている。女性差別の撤廃には賛成だが、批准することがすべてではないと考え、反対する。

《反対》 齊藤 隆浩 議員

録画配信



議件名	結果	齊藤 (義)	置田	重山	大櫛	堀	鈴木	佐藤	齊藤 (隆)	端	藤本	鵜川
請願第 2 号 選択的夫婦別姓制度導入の国会審議を求める意見書の提出についての請願	不	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	/

主旨：日本では婚姻における夫婦別姓が認められないために、望まない改姓、事実婚、通称使用などによる不利益、不都合を強いられている人が多く存在している。働く女性たちにとっては、改姓によってキャリアが中断されるといふ声も切実で、結婚や出産を躊躇する要因の1つにもなっている。

選択的夫婦別姓制度の導入について、国会の審議を進めることを早期に求める。

《賛成》
重山 雅世 議員

栗山町だけが遅れている。経団連も、希望すれば生まれ持った姓を戸籍上の姓として名乗り続けられる制度の早期実現を要望している。

《反対》
堀 文彦 議員

選択的夫婦別姓を希望している方はいると思うが、それが栗山町民の大半の意見なのかというと、まだそこまではっていない。

《賛成》
置田 武司 議員

夫婦別姓制度は日本だけが導入されていない。国際的な流れとして、姓の選択をできる法の整備が求められていると思う。

《反対》
齊藤 隆浩 議員

パスポート等にも旧姓を併記できるようになって、不便は少しずつ解消されてきている。

録画配信



●令和6年12月定例会議

議件名	結果	齊藤 (義)	置田	重山	大櫛	堀	鈴木	佐藤	齊藤 (隆)	端	藤本	鵜川
議案第43号 町税等の督促手数料の廃止に係る関係条例の整備に関する条例	可	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	/

内容：収納環境の多様化及び電子化により、督促手数料の徴収をできないケースが増加している状況にある。納税者の公平性を保つ観点からも、町税等に係る督促手数料を廃止にする。

《反対》
齊藤 隆浩 議員

きちんと支払っていない人には、それなりのペナルティを負ってもらわないと、きちんと支払っている人が報われない。

督促手数料を徴収するにあたっては、改善の余地がある。それを諦めて徴収しないとするのは、自分は町民に説明できない。

《反対》
堀 文彦 議員

督促手数料をなくすことは、督促状を出す経費 40 万円を毎回赤字として背負っていくことになる。全員が平等に督促手数料を支払う制度に変えていくべき。

《賛成》
大櫛 則俊 議員

勝手に送ってくる督促状の切手代を、町民が負担するのはおかしいのではないかと考えていた。

《賛成》
藤本 光行 議員

支払う手法によって督促手数料を取られる場合と、取られない場合があるということを、まずは解決するというのがこの提案の本質。その差が是正されるというところでは賛成。

《賛成》
端 師孝 議員

支払い方法が多様化してきた、そこに対応するには時間がかかると思う。

役場窓口で支払った場合だけ督促手数料がかかるという現状は、平等ではないと思う。

録画配信



4 各常任委員会の活動内容



■総務教育常任委員会

「若者定住事業のパッケージプランとして考えられる施策と今後の展望について」

- ・移住体験事業等の内容、実績、今後の展望等

「学校教職員の働き方改革の実効化に向けた部活動の地域移行の取組について」

- ・部活動の地域移行の取組、栗山町での進捗状況等

「社会教育の施設の老朽化に伴う施設の統廃合に関する実態と課題、今後の展望について」

→今後調査予定

「介護福祉学校で行われている高専連携の実態と課題、今後の展望について」

→今後調査予定

■広報広聴常任委員会

「くりやま議会だよりの発行と広報機能の充実について」

- ・議会だより第178号～181号（年4回発行）

「議会広報・広聴機能の充実について」

- ・議会報告会（14会場予定）
- ・出前報告会

■産業福祉常任委員会

「栗山煉瓦創庫くりふとの現状と課題について」

- ・栗山煉瓦創庫くりふとの概要と稼働実績、今後の展望等
- ・栗山煉瓦創庫くりふと現地調査

「ゴミ処理体制の実態について」

- ・ゴミ処理広域化の経過
- ・資源リサイクルセンター整備方針の状況等



産業福祉常任委員会現地視察（栗山煉瓦創庫くりふと）

■議会改革推進会議

「栗山町議会運営先例集の一部改正」

- ・一般質問、文書質問について

「資料要求について」

- ・資料要求についての申し合わせ事項を作成

「議員の学校」

- ・議員のなり手不足の対応策の1つとして開催

「北海学園大学及び愛知大学ゼミ合宿受け入れ」

- ・北海学園大学及び愛知大学の学生 32 名がゼミ合宿のため栗山町議会へ
- ・栗山町議会の議会改革、なり手不足対策について調査

「全国町村議会議長会視察調査受け入れ」

- ・議会改革に伴う活動量の変化等について

■議会運営委員会

「議会運営について」

「請願審査について」

- ・物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引き上げを求める請願
- ・女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の日本政府への提出についての請願
- ・選択的夫婦別姓制度導入の国会審議を求める意見書の提出についての請願

■報酬に関する調査特別委員会

「議員の報酬について」

- ・令和4年12月の審査報告では現状維持とし、引き続きの検討課題となっていた報酬について調査検討
- ・議員活動量調査
- ・原価方式による議員報酬の試算
- ・参考人招致（議会サポーター）

大正大学社会共生学部教授 江藤 俊昭 氏



報酬に関する調査特別委員会（参考人招致）